

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	01-04
原子炉建屋内 (RB)	RB	5	1 時間		
タービン建屋内 TB			2 距離		
R ZONE R			3 遮へい		
Y ZONE Y			4 線源の除去		
G ZONE G			⑤ 遠隔、自動化		
その他 () Z			6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内 容 2号機原子炉建屋 1 FL X-6前に機器を搬入するための干渉物撤去

作業部位 2号機原子炉建屋 1 FL

概 略 2号機原子炉建屋 1 FL X-6に機器を搬入するにあたり、干渉機器の撤去を実施した。

評 価 定性・定量	効 果	対 策 前		対 策 後	
		被ばく線量(mSv)	626	63	
		人工数(人日)	--	--	

事例詳細

対策前 作業エリアとなる2号機原子炉建屋1FLは高線量率であるため、人力による機器移動では多くの被ばくが懸念された。

対策内容 下記に示す様々なロボット・遠隔操作ができる機器を使い人力作業を最小限にした。

< 工学的低減対策 >

重機の無人化・遠隔操作

遠隔操作重機

ハスクバーナー



遠隔運搬台車



遠隔監視ロボット

コブラ



バックボット